

令和7年度「育てる漁業研究会」開催要領

公益社団法人 北海道栽培漁業振興公社

テーマ 「北海道における革新的な増養殖業の創出について」

【趣旨】

FAO（国連食糧農業機関）によると、2022年の世界の養殖業の生産量が漁業を上回り、養殖業は「世界の魚を支える主流産業」へと転換しています。我が国においても漁船漁業による生産が頭打ちとなっているため、養殖業への期待が大きくなっています。一方、北海道においては、日本海、太平洋及びオホーツク海の三つの特色ある海に囲まれ、多様な環境条件のもと、ホタテガイ、カキ、コンブなど海の生産力を生かした無給餌養殖（栽培漁業含む）や、ウニの給餌養殖が取り組まれてきました。

しかし、高齢化・担い手不足の問題は、本道の養殖業においても深刻であり、加えて高水温による影響も様々な形で顕在化していることから、これまでの仕組みや考え方のままでは持続が難しい局面を迎えていると言えます。さらに、養殖業を成長産業化するためには、国内での人口減少や魚食スタイルなど消費構造変化への対応や、海外マーケットやSDGsなどに配慮することも必要と考えられます。

このたびの本研究会では、道外での新たな増養殖事業モデル創出に向けた取り組みと、道内でのマガキとキタムラサキウニ養殖の新たな研究事例などを紹介いただき、これまでにない発想や新技術などにより、新しい価値を生み出す革新的な養殖業の創出の糸口を探って行きたいと思います。

記

1 主 催 公益社団法人 北海道栽培漁業振興公社

2 後 援 北海道水産林務部

3 開催日時 令和8年1月16日（金）9：00～12：00

4 開催場所 北海道第二水産ビル8階大会議室（札幌市中央区北3条西7丁目）

5 次 第

（1）開 会 9:00

（2）挨拶 主催者挨拶 公益社団法人 北海道栽培漁業振興公社
代表理事会長 阿部 国雄
来賓挨拶 北海道水産林務部

（3）基調講演 時間（質疑時間含む）

9:15～10:15 （60分）

演題 「産学官民による戦略的な水産増養殖産業の創出」
～増養殖に特化した学科を立ち上げて見えてきたこと～

講師 福井県立大学 海洋生物資源学部
先端増養殖科学科 特命教授 富永 修

(4) 事例紹介 時間(質疑時間含む)

① 10:20~10:55 (35分)

演題 マガキの成熟抑制による早期出荷技術開発

報告者 道総研水産研究本部 中央水産試験場

資源増殖部 主査(増殖環境) 近田 靖子

② 10:55~11:30 (35分)

演題 秋から冬に行う未利用キタムラサキウニの養殖技術開発

報告者 道総研水産研究本部 栽培水産試験場

栽培技術部 研究主幹 川崎 琢真

(5) 総括ディスカッション 11:35~11:55 (20分)

コーディネーター	公益社団法人	北海道栽培漁業振興公社		
		代表理事副会長	三宅	博哉
パネラー	福井県立大学	特命教授	富永	修
	道総研栽培水産試験場	研究主幹	川崎	琢真
	道総研中央水産試験場	主査	近田	靖子

(6) 挨拶 閉会挨拶 公益社団法人 北海道栽培漁業振興公社
代表理事副会長 三宅 博哉

(7) 閉会 12:00